**地理歴史科（地理○○）学習指導案【新課程版・記入例入り】**

指導者　　○○　○○

１履修単位数 ○単位

２実施日時 令和５（２０２３）年○○月○○日（　）　第○時限

３学級　　　　 　○年○組または○○○ホームルーム（○○名）

４　使用教科書　　　○○○○○○○○（出版社名）

５　単元名 　　　 ○○○○○○○○　　※中単元（約３～６時間程度）

【例】地図や地理情報システム（GIS）から読み取れる世界

６単元（題材）設定の理由

＜生徒観＞

　　地理歴史への取り組み方（興味・関心・態度など）、生徒が今現在できていること、今は足りていない技能・見方・考え方など（今回身に付けさせたいこと）。

＜教材観＞

　　単元全体の概要、教材の特性（この単元で何をどのように扱うことができるか、それにより、どのような知識・技能、見方・考え方等を身に付けさせることができる単元か）。

＜指導観＞

　　生徒観や教材観を踏まえた上での指導のポイントや工夫（単元をどのような方策で行うことで何を身に付けさせたいか、どのようなことが見込めるか）。

学習指導要領＞各科目＞内容　の表現や、

｢指導と評価の一体化｣…　の表現に基づいて作成する

７　単元（題材）の目標

　　学習指導要領の目標・内容を基にして設定する。

　※生徒主体の行動目標で書く。「～する・している、～をすることができる」などの文末表現にする。

【例】

・現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。（知識）

・地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。（思考）

・習得した地図や地理情報システムの技能をさらに活用し、よりよい社会の実現を視野に、日本と世界のつながりにみられる課題を主体的に追究しようとする態度を養う。（態度）

**単元の基軸となる問い**　　　　※単元全体を貫く（主に思考・判断・表現に関する)もの

 ※学習の「見通し」と「振り返り」

 ※どのように考察(探究)させるのか

【例】**単元の基軸となる問い**　　地図や地理情報システムを通せば、この世の中はどう見えるだろうか

文末表現以外は７単元の目標と同様であること。｢指導と評価の一体化｣…巻末資料を参照する。

８　単元（題材）の評価規準 　　※単元全体の評価規準であること。

単元の目標を生徒がどの程度実現しているかを判断するためのよりどころである。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 (知) | 思考・判断・表現 (思) | 主体的に学習に取り組む態度 (態) |
| ～の知識を身に付けている。など | ～について適切に表現できている。～を考察している。など | ～している。～に主体的に取り組んでいる。など |

【例】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 (知) | 思考・判断・表現 (思) | 主体的に学習に取り組む態度 (態) |
| ・現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解している。 | ・地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目し、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 | ・習得した地図や地理情報システムの技能をさらに活用し、よりよい社会の実現を視野に、日本と世界のつながりにみられる課題を主体的に追究しようとしている。 |

９　指導と評価の計画　　単元名○○○○　全○時間 　　※単元全体の中で３つの観点を入れる。

第一次　○○○○・・・・【●知、●態】

第二次　○○○○・・・・【○知、●思】

　 第○次　○○○○・・・・【●知、●思】(本時 〇／〇)

【例】単元名　地図や地理情報システム(GIS)から読み取れる世界　全８時間

　　第一次　歴史の一場面に登場する場所は、地図やGISを通せばどう見えるどう見えるだろうか【●知、●態】

第二次　地理院地図や今昔マップから身近な地域のどのような特徴が読み取れるだろうか【○知、●思】

第三次　グローカルって何だろう①（○○を活用し、○○を考える）【●知、●思】(本時１／２)

単元の指導計画（○…「評定に用いる評価」、●…「学習改善につなげる評価」）

 ※指導計画は、単元などの内容や時間のまとまりを見通して作成する。

※学習内容の区分を指導順に配列し、それぞれに指導予定時数を配当し、単元全体の流れが分かるようにする。

【例】単元の指導計画（○…「評定に用いる評価」、●…「学習改善につなげる評価」）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時程 | 学習活動 |  評価の観点 | 評価規準等 |
| 知 | 思 | 態 |
| 第一次　２時間扱 | 【(単元の)基軸となる問い】地図や地理情報システムを通せば、この世の中はどう見えるだろうか 数時間ごとなら「次(○時間扱)」１時間ごとなら「時」・○○○○から、読み取ったことをワークシートにまとめる。・ウェブGISを使って、他にどのようなことが調べられるかについて考えたことをワークシートにまとめる。 | 【第一次(時)の問い】　歴史の一場面に登場する場所は、地図や地理情報システムを通せばどう見えるだろうか。問い ： メディアはどれほどの影響を国民に与えたか。●一次(時)の評価規準は１つか２つが妥当 |  | ● | （評価資料）：ワークシート、発表●歴史資料（絵画）から地理に関する情報を適切に読み取っている。●ウェブGISを使ってどのようなことが調べられるか予想している。 |
| 第二次２時間扱 | 【第一次(時)の問い】地理院地図や今昔マップから身近な地域のどのような特徴が読み取れるだろうか問い ： メディアはどれほどの影響を国民に与えたか。・地理院地図活用の基本的な技能を身に付ける。・今昔マップを活用し、地域の変容やその歴史的背景について考察する。 | ○ | 行を揃える● | そあろえる | （評価資料）：ワークシート○地理院地図を活用し、自宅と学校の距離を計測したり、自宅周辺の地形的特徴を正確に読み取ったりしている。●今昔マップから地域の変容を的確に読み取るとともに、変容の要因について多面的・多角的に考察している。 |
| 第三次★本時1/2 | 【本時の問い】　グローカルって何だろう➀（○○○○の拡大を考える）　問い ： メディアはどれほどの影響を国民に与えたか。・授業支援アプリにイメージマップを作成し、視覚化し全体で共有する。・グローバルな規模における人や物の移動の特徴と、○○○○との関連について、GISを活用して、ワークシートにまとめる。 | ● | ● | ワークシート、授業支援アプリ、発表など | （評価資料）：ウェブGIS、ワークシート、発表●イメージマップを通して、グローカルの意味について理解している。●GISを活用して得た情報や既習事項を基に、位置や範囲などに着目して、人や物の移動と、○○○○との関連について考察したことを適切に説明している。 |

10　本時の指導目標

 ※本時の学習活動で目標としていることを単元の評価規準に照らして具体的に書く。

11　本時の展開

※９単元の指導計画をもとに、本時の展開を生徒の学習活動がメインとなるよう具体的に書く。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 学習活動 | 指導上の留意点 | 学習活動における具体の評価規準 | 評価方法 |
| 導入 |  | 【単元の基軸となる問い】地図や地理情報システムを通せば、この世の中はどう見えるだろうか |  |  |
| 展開○分 | ・１人１台端末上で授業支援アプリを活用してグローカルのイメージマップを作成し…１人１台端末を活用した場面を**太字**で記入し、**太枠**で囲む | 【本時の問い】　グローカルって何だろう・グローカルに関するイメージマップを通じて他者の考えと比較し… | ・イメージマップを通して、グローカルの意味について理解している。　 　　　【知識】 | ・ウェブGIS |
| 展開 ○ 分 | ・人や物の移動の特徴と……GISを活用して、ワークシートにまとめる。 | ・○○○○から読み取った事と、……との関連について、ワークシートを通して考察させる。 | ・GISを活用して得た情報や既習事項を基に…考察したことを適切に説明している。【思考】 | ｢おおむね満足できる(Ｂ)｣と判断される生徒の状況を書く９単元の指導計画の評価規準12評価の目安(Ｂ)と同様であること |
| まとめ○分 | ・本時のまとめと感想をワークシートに書き込む。 | ・本時のねらいに対する自己評価とふり返りをさせる。 |  |  |

12　評価の目安と目標実現のための手立て

本時の展開で設定した評価の観点

【例】【思考・判断・表現】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| Ａ | 十分満足できる | Ａと評価する生徒の姿を書く。Ｂから更なる質的な高まりや深まりを持つと判断される多様な姿が想定され、限定的に書かない。 |
| Ｂ | おおむね満足できる | Ｂと評価する生徒の具体的な姿を書く。本時の目標を踏まえて、付けたい資質・能力が付いた生徒の姿を想定する。本時の展開における評価規準と同じでもよい。 |
| Ｃ | Ｂを満たさない生徒への具体的な手立て | Ｃと評価される生徒のつまずきを予想して、「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導・支援策を示す。 |

※１単位時間あたりの評価規準数は、１つか２つが妥当。